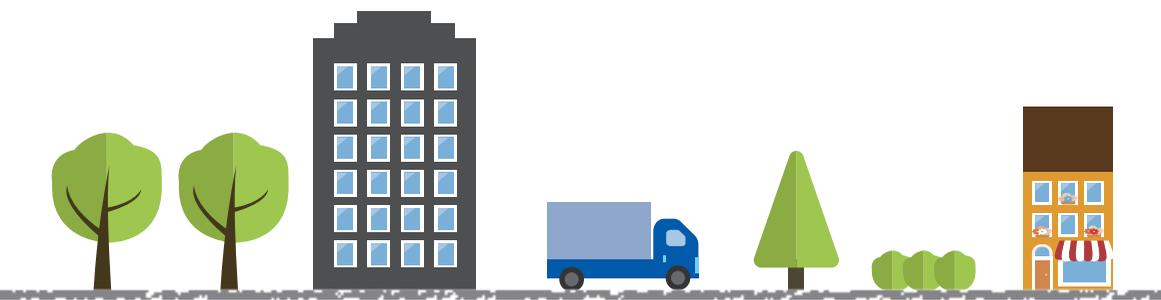
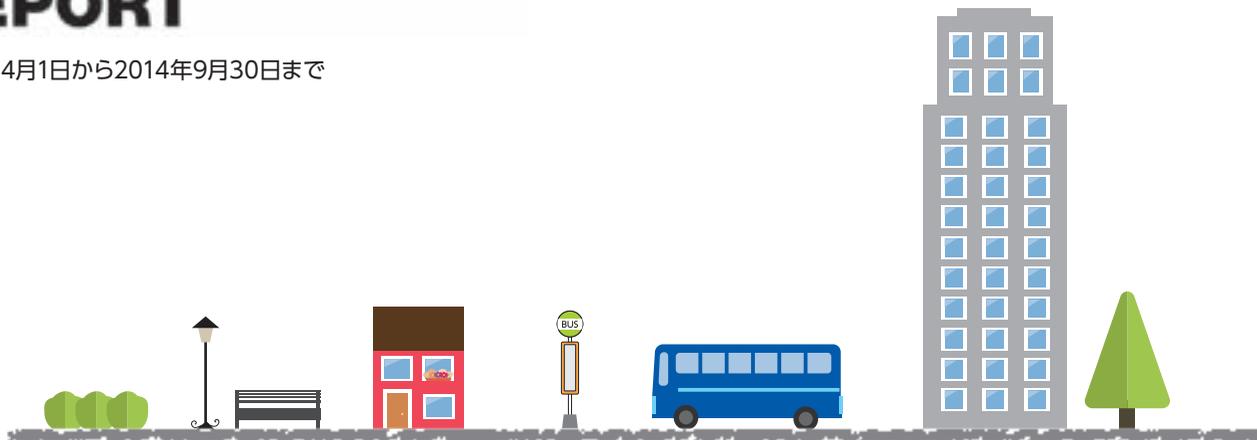




HINO

REPORT

2014年4月1日から2014年9月30日まで



日野自動車株式会社

証券コード 7205

持続的な成長に向けて構造改革を着実に推進



代表取締役社長 市橋 保彦

HINO REPORTをお届けするにあたり、代表取締役社長の市橋保彦より、ご挨拶申し上げます。

ご挨拶・上期総括

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度上期につきましては、海外主力市場が一時的な足踏みの中、堅調な国内市場での増販、着実な原価改善等により、連結売上高は7,916億円、営業利益は493億円、純利益は327億円となりました。

下期の見通しにつきましては、国内市場では引き続き力強い需要が継続すると見られ、1台1台大切に、お客様にお届けしてまいりたいと考えています。

海外市場につきましては、依然として先行き不透明ではありますが、一部の主力市場では需要回復の兆しが見え始めており、今後の需要回復期に向けて、しっかりと準備していきたいと考えています。北中南米や中近東、アフリカ等においては、市場の拡大・成長をしっかりと取り込んでいくべく、引き続きアフターサービスを含めた日野ブランドの定着と拡販を推進してまいります。

通期の業績予想としましては、足元の国内外の市場動向や為替動向等を踏まえ、本年4月に公表いたしました予想を見直し、売上高1兆6,000億円を1兆6,600億円に、営業利益900億円を1,000億円に、純利益580億円を650億円に、それぞれ修正することといたしました。市場環境を中心に、依然として不透明な要素もありますが、全社一丸となって、この達成に取り組んでまいります。

尚、中間配当につきましては、前回予想通り1株につき18円の配当を実施させていただきます。

し、全社を挙げて構造改革に取り組んでおります。

この中で、モジュール化を活かした市場適格車の第一弾の市場投入を今年度内に予定する等、これまでの取り組みが着実に具現化しています。

来期以降の取り組み

目下、将来の当社の向かうべき方向性について、改めて検討を重ねており、その結果を踏まえ、来期以降の具体的な取り組み計画を策定してまいりたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

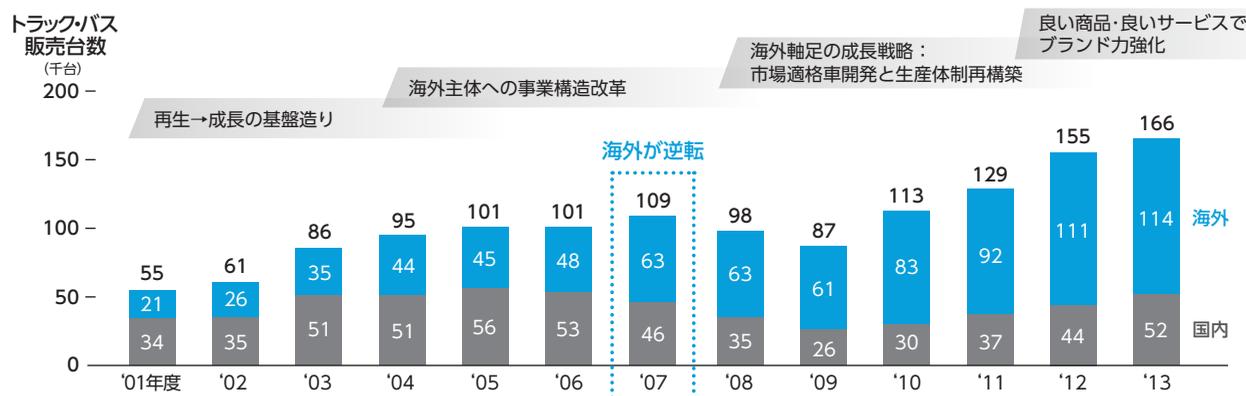
構造改革の進捗状況

当社は、2012年4月に公表いたしました中期経営計画に基づき、「最短のリードタイムでお客様に合った商品を、高い付加価値とともに提供する」ことを目指

財務ハイライト



成長の軌跡



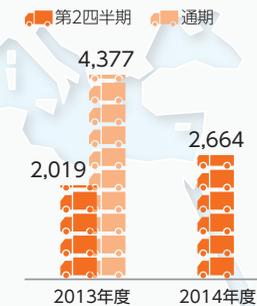
今年度上期のグローバル販売状況と主な海外トピックスを紹介します。

今年度上期の状況 (単位: 台)

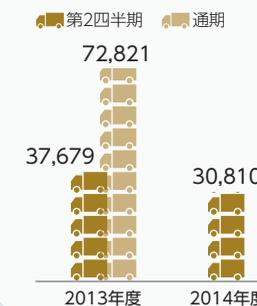
欧州



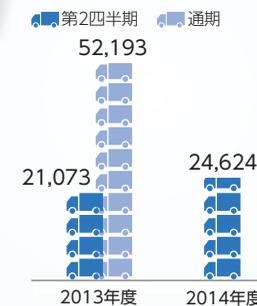
中近東



アジア



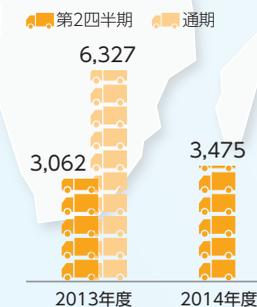
日本



北米



アフリカ



オセアニア



中南米



台湾にハイブリッド小型トラックを投入

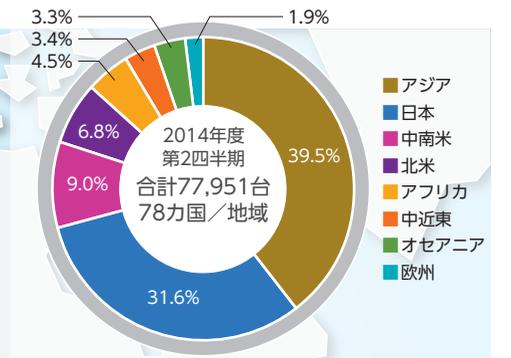
2014年9月、台湾にてHINO300シリーズ(日本名 日野デュトロ) ハイブリッドを発売しました。

日野は、1991年に世界初のハイブリッド市販車となる大型路線ハイブリッドバスを発売。以来、お客様に高い評価をいただき、国内外でのハイブリッドトラック・バスの累計販売台数は1万台を超えています*。ハイブリッドをはじめ、これからも環境や人に優しく、社会とお客様のお役に立つ商品を提供してまいります。

*2014年9月末時点 11,919台



地域別販売構成比



タイ製造子会社が創立50周年

2014年7月、タイにおける製造子会社である「日野モーターズ マニュファクチャリングタイランド株式会社」は、会社創立50周年記念式典を開催。関係者の方々へ感謝の気持ちをお伝えし、さらなる飛躍を誓いました。



マレーシア新工場ラインオフ

マレーシアにおける製造子会社「日野モーターズ マニュファクチャリングマレーシア株式会社」は、このたび新工場での生産を開始しました。

新工場の稼働開始により、インドネシア、タイに次ぐ主要市場に成長しつつあるマレーシアでの販売台数増加に対応できる十分な供給力を確保するとともに、仕様や納期などにもより柔軟に対応できるようになりました。



News & Topics ... No.1

大型観光バス「日野セレガ」・大型トラック「日野プロフィア」を改良して新発売

～燃費の向上と安全装備の機能を充実～

2014年4月、「日野セレガ」および「日野プロフィア」の新モデルの販売を開始しました。今回の改良では、燃費向上とあわせて、衝突被害軽減ブレーキの機能を充実したほか、走行車線

からはみ出すと警報する「車線逸脱警報装置」や、ドライバーの閉眼や顔の向きを検知して警報する「ドライバーモニター」の性能向上等による安全装備の充実を図っています。



「日野セレガ」新モデル



「日野プロフィア」新モデル

News & Topics ... No.2

「尿素水を必要としないNOx、PM同時低減システム」第64回自動車技術会賞「技術開発賞」を受賞

中小型ディーゼル車用の排出ガス後処理システム「新DPR」の開発において、第64回自動車技術会賞「技術開発賞」を受賞しました。

自動車技術会賞は「自動車工学及び自動車技術の向上発展を奨励すること」を目的として設けられた賞で、日野の技術力が高く評価されました。

日野はこれからも自動車技術の発展に貢献すべく、積極的に新技術の研究・開発に取り組んでまいります。



受賞対象となった「新DPR」(カットモデル)

News & Topics ... No.3

グローバル生産体制の構築を推進

現在、日野は、グローバルに最適な生産・供給体制の構築を進めており、国内においては古河工場、新田工場を中心に取り組みを推進しています。

この一環として、2014年7月新田工場にてデフセンターが稼働を開始しました。新田工場は、ユニット工場として、世界中の日野の車両工場に部品を供給していく役割を担っており、今後、海外を中心とする販売の拡大を支えていく重要な工場です。

また、2012年5月からKD工場（海外組み立て用部品の梱包工場）の稼働を始めた古河工場では、2016年内の本格稼働に向けた準備を進めており、2014年3月にはシャシ工場の建設に着手しました。

古河工場は、新田工場とともに日野のグローバルな生産・供給体制の基盤となると同時に、日本のものづくり技術を世界中に発信していく計画です。



7月に稼働を開始した新田工場デフセンター



シャシ工場の建設が始まった古河工場(完成予想図)

News & Topics ... No.4

お客様サポート体制の強化を推進

○ 東京日野 新狭山支店をオープン

日野は、新車販売に加え、整備や車検、部品供給などでお客様のビジネスに貢献する“トータルサポート活動”の強化に努めています。

その一環として、日野の販売会社である東京日野自動車株式会社は、お客様が立ち寄り易い立地にて、新狭山支店の営業を開始しました。同支店は、日野の販売会社では最大級の面積を

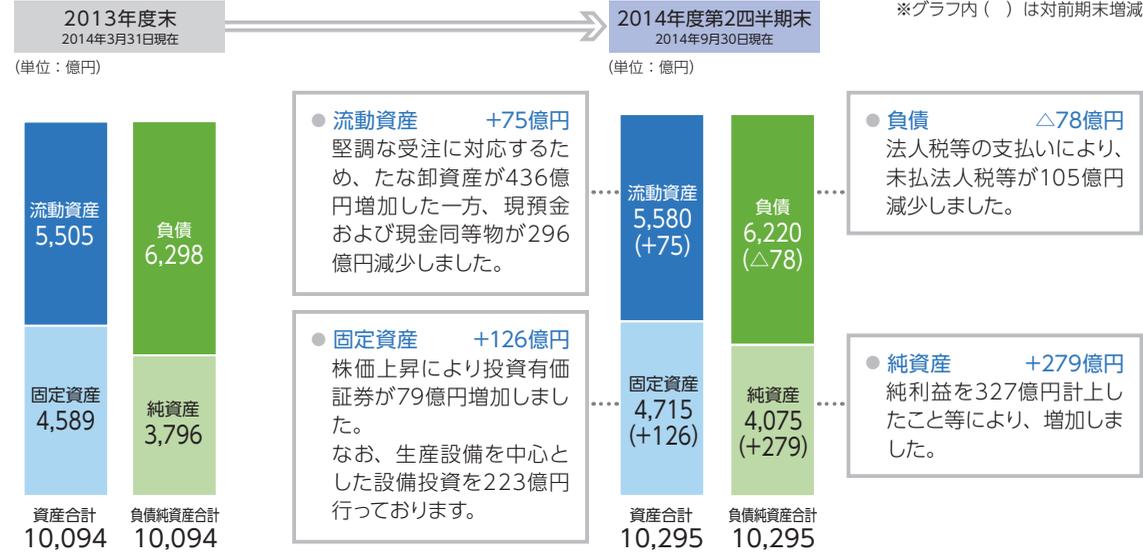


2014年5月にオープンした東京日野 新狭山支店

誇り、最新鋭かつ環境に配慮した設備を導入。また女性ドライバーの方に、より立ち寄り易い環境とするため、女性専用の休憩室を設置するなどの工夫をしています。

新狭山支店以外にも、よりスピーディーで高品質なサービス提供のため、拠点の移転や新設、リニューアル等を進めています。

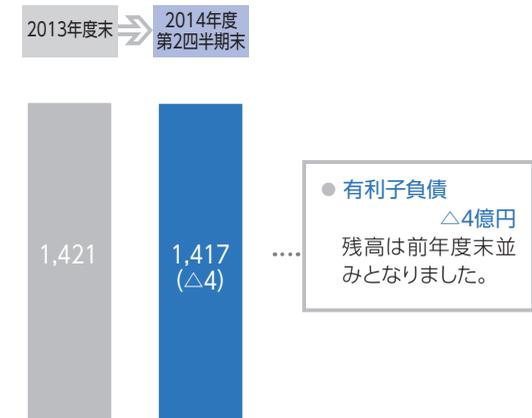
連結貸借対照表



有利子負債

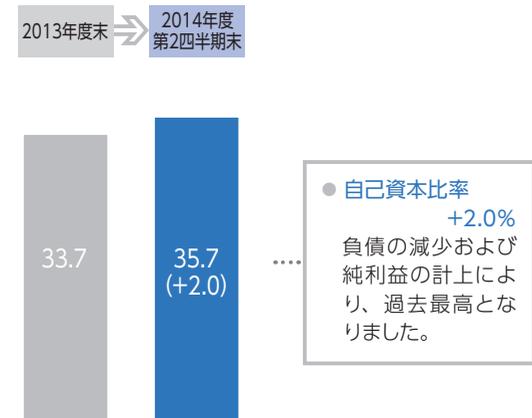
(単位：億円)

有利子負債とは、短期借入金および長期借入金の合計値です。



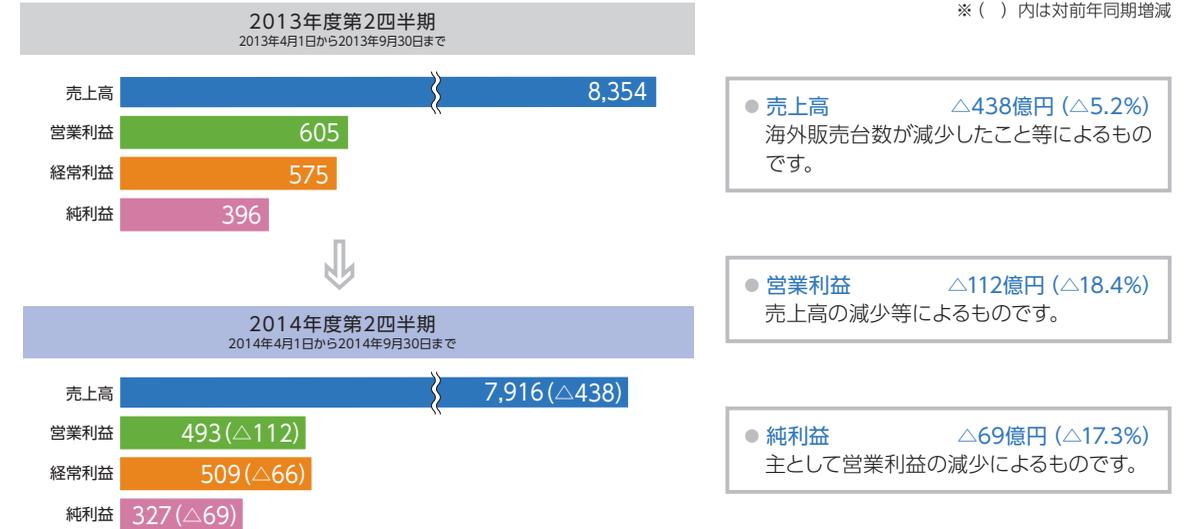
自己資本比率

(単位：%)



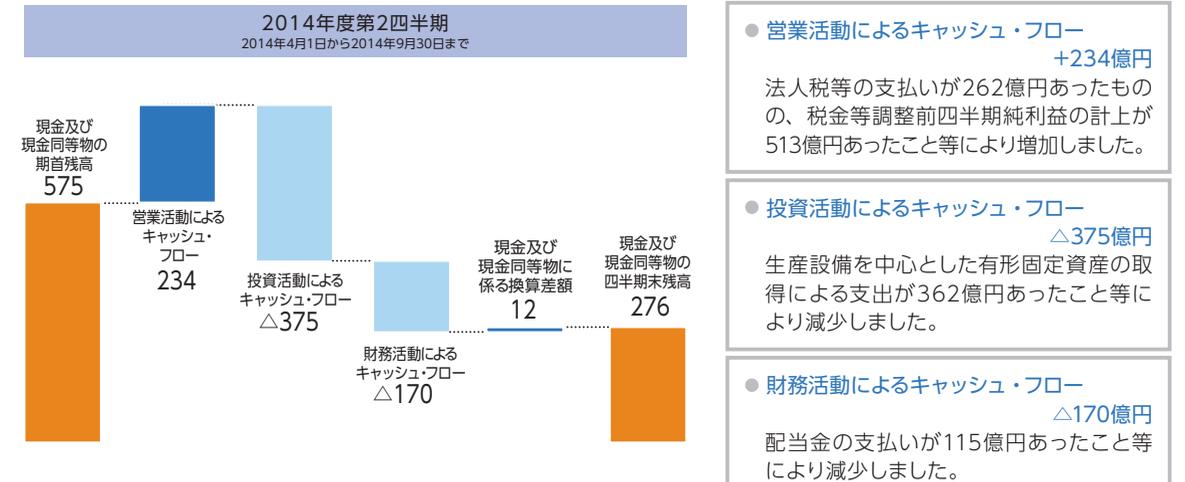
連結損益計算書

(単位：億円)



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)



会社概要	
日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.	
創 業	1910年(明治43年)
設 立	1942年(昭和17年)5月1日
資 本 金	72,717,284,641円
主要な事業所 および工場	本社・日野工場 東京都日野市日野台3丁目1番地1 〒191-8660 電話 (042) 586-5111 羽村工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 〒205-8660 電話 (042) 579-0411 新田工場 群馬県太田市新田早川町10番地1 〒370-0344 電話 (0276) 56-5111 古河工場 茨城県古河市名崎1番地 〒306-0110 電話 (0280) 67-3500 茨城テストコース 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 〒311-4613 電話 (0295) 55-3122 北海道芽室テストコース 北海道河西郡芽室町雄馬別14線26番地1 〒082-0382 電話 (0155) 66-2511 日高配車センター 埼玉県日高市上鹿山689番地1 〒350-1234 電話 (042) 985-4747 青梅部品センター 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 〒198-0025 電話 (0428) 32-9911
ウェブサイト	http://www.hino.co.jp/

取締役・監査役

代表取締役会長	市川 正和	常勤監査役	山本 章正
代表取締役社長	市橋 保彦	常勤監査役	渡 春樹
取締役副社長	和具 健治	監査役	辻井 昭雄*
取締役副社長	尾島 孝一	監査役	萩原 敏孝*
取締役副社長	小梶 博	監査役	布野 幸利*
取締役・専務役員	鈴木 賢二	監査役	北原 良章*
取締役・専務役員	梶川 宏		
取締役・専務役員	三田 進		* 社外監査役

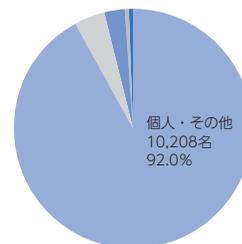
株主の状況		
発行済株式総数	574,580,850株	
株 主 数	12,352名(前期末比60名減)	
大 株 主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,108	5.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,710	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	10,031	1.75
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	6,449	1.13
東京海上日動火災保険株式会社	6,104	1.07
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,631	0.81
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	4,462	0.78
株式会社永坂産業	4,255	0.74
日清紡ホールディングス株式会社	4,209	0.73

(注) 持株比率は自己株式(1,647千株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

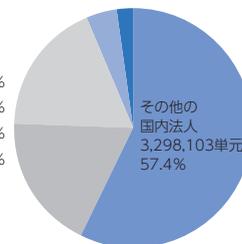
株主数および比率(合計 11,097名)

■金融商品取引業者	40名	0.4%
■金融機関	74名	0.7%
■その他の国内法人	304名	2.7%
■外国人等	471名	4.2%



株式数および比率(合計 5,744,108単元)

■金融商品取引業者	121,002単元	2.1%
■個人・その他	243,341単元	4.2%
■外国人等	1,026,952単元	17.9%
■金融機関	1,054,710単元	18.4%



(注)
 1. 上記株主数、株式数には、単元未満株主1,255名、単元未満株式170,050株は含まれておりません。
 2. 「個人・その他」には、自己株式が16,473単元含まれております。また、1.の単元未満株式には自己株式が63株含まれております。

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料
公 告 方 法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukou/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京、名古屋各証券取引所
証 券 コ ー ド	7205
1 単 元 の 株 式 数	100株

◇特別口座について

特別口座とは、株券電子化(2009年1月5日)の実施までに、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した口座です。

◇特別口座の留意事項

- ・特別口座に記録された株式を売却するには、株主様が証券会社等に口座を開設し、株式の振替を行う必要があります。
※単元未満株式の買取請求は特別口座のままでも可能です。当社の買取手数料は無料ですので、是非ご活用ください。
- ・特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお願いいたしません。

【(ご案内) 少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき株式数比例配分方式をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間配当金の株主確定日までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。
 NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

【株式に関するお手続きの窓口について】

◇特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-7111(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) ※三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 電話およびインターネットにより24時間承っております。 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-7111(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

日野自動車株式会社

〒191-8660

東京都日野市日野台3丁目1番地1

電話 (042) 586-5111 (代表)

<http://www.hino.co.jp/>

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

